

同社では「ネット販売のチャネルを強化しながら、認知度向上と顧客の取り込みを図りたい」と話している。

同社は1850年創業、1961年設立。資本金2985万円。従業員数は約60人。

ドローン活用の新プロジェクト

キューサイとNTTドコモ九州支社

青汁メーカーのキューサイ(株)(福岡市中央区草香江1丁目、神戸聡社長)と(株)NTTドコモ九州支社(同区渡辺通2丁目、山崎拓執行役員九州支社長)は、2月からドローンを活用した農場の実証実験を開始した。来年1月まで。

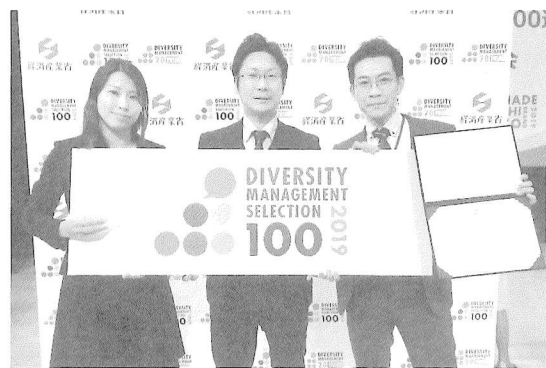
青汁の原料「ケール」をキューサイのグループ会社(株)キューサイファーム島根(島根県益田市、廣田英二社長)で栽培しており、農業関連のシステム開発を進めるNTTドコモと連携を図り、最終的に生育状態の把握や収穫量予測、病害虫検知が可能となるシステムを開発していく。内容は、東京ドーム約6・6個分ある島根のケール畑を定点観測撮影し、その画像データをN

TTドコモの解析システムに構築。膨大な画像データを蓄積することで、システム精度の向上を図っていく。また、これにより従来、人の手で定期的な圃場を巡回し、目視で確認していたことがパソコンやスマートフォン、タブレット端末などさまざまなデバイスでの管理ができるようになる。さらに、生育状態の悪い株にのみピンポイントで肥料を散布することで肥料コストの大幅な削減、また解析したデータを各農作業機械やトラクターの自動走行と連動させ、作業効率の向上や栽培コストの削減も期待できる。農業の人手不足や継承問題など、同じ課題を抱える地域社会の課題解決の糸口になるよう取り組みを進めていく。

新・ダイバーシティ経営企業100選に選定

スリー・アールシステム

パソコン周辺機器・デジタル機器の製造販売、太陽光事業などを展開するスリーアールシステム(株)(福岡市博多区東光2丁目、今村陽一社長)は3月22



左から総務人事部の前本希さん、今村陽一社長、明瀬正吾総務人事部課長

日、経済産業省の「新・ダイバーシティ経営企業100選」に選定された。

多様な人材の能力を生かし、価値創造につなげている企業を表彰するもの。2012年度から年1回実施しており、過去6年間で226社が選定されている。今回は全国105社の応募があり24社が選出、九州からは唯一の受賞となった。外国籍社員の採用と定着への取り組みや、子どもの有無や性別に制限なく誰でも取得可能な独自の時短正社員制度の整備が評価され選定に至った。

同社では現在、中国とスペインの社員が在籍。過去にも韓国

やベトナム籍の採用実績を持つ。国際貿易部(16年発足)においては、通訳・翻訳を介する業務で、語学が堪能かつ自身で状況を判断し交渉を進められる外国籍社員を採用することにより、タイムロスをなくし円滑な業務進行につなげている。時短制度は現在11人が利用。1日4時間からの勤務でフルタイムの正社員と同一の福利厚生を受けられる制度で全社員を対象にしている。介護や結婚のほか、副業自身の勉強など、さまざまな理由で利用されている。

総務人事部の前本希さんは「今後はこの取り組みを、シニアや障がい者の採用にも広げていきたい。例えば時短の利用で人員が少なくなりがちな夕方の時間帯にシニアスタッフを配置するなど、多様な人材が活躍できる職場作りをこれまで以上に推進していく」と話している。

同社は2001年5月設立。資本金1000万円。2018年3月期売上高は18億6200万円(グループ)。従業員74人(同)。

今村社長は大川市出身。1977年10月21日生まれ。4



アサヒ緑健と左衛門がコラボした「緑効青汁入り博多ぶら」

1歳。岡山大学文学部卒。趣味は読書。

初のコラボ商品、「左衛門」と

アサヒ緑健

青汁専門会社の(株)アサヒ緑健(福岡市博多区博多駅東3丁目、古賀良太社長)は3月1日、地元の名産菓子店「博多菓匠左衛門」とのコラボレーション商品を発売した。

商品は、「緑効青汁入り博多ぶらぶら」で、アサヒ緑健の「緑効青汁」を左衛門の主力和菓子「博多ぶらぶら」の白あんに練りこんだもの。もちもちとした口当たりと、緑効青汁入りのあ

んの素朴な甘さが特徴。アサヒ緑健としては他社と初めてのコラボ商品となった。価格は1箱6個入りで1080円。左衛門の天神本店や博多駅マイング店、デイトス店など各店、また、アサヒ緑健本社1階にあるカフェ「33CAFE GREEN」でも販売している。

板金コンテストで受賞

ナサ工業

昇降機関連の部品、外装などを製造するナサ工業(粕屋郡須恵町、長澤貢多社長)は3月9日、「第31回優秀板金製品技能フェア」で「審査委員会特別賞」と、10年連続出品を称えた「特別奨励賞」を受賞した。

同コンテストは、板金製品や作品を募集し、その加工技術を発展させることを目的に職業訓練法人アマダスクール(神奈川県)が毎年開催しているもの。国内外の板金加工企業が出品でき、今年の出作品数は国内外から263点、受賞件数は67点。同社が出品したのは、ステンレスの板金を加工してつくった「御神輿(おみこし)」。高さ3

0センチほどの置き物で、御神輿の細部まで板金を加工して再現した点の特徴。溶接をせずに複雑な立体構造をつくった点も評価され、「特異性がある優秀な作品」として「審査委員会特別賞」に選ばれた。また同社は10年連続で作品を出品し続けていることから「特別奨励賞」も受賞している。

同社では「受賞を機に、今後さまざまな作品づくりを力を入れていきたい」と話している。

同社は1974年10月設立。資本金1500万円。従業員数は約90人。

健康経営優良法人に認定

正興電機製作所

電力会社や官公庁向け情報制御システム製作・販売の(株)正興電機製作所(福岡市博多区東光2丁目、福重康行社長)は2月25日、「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)」(ホワイト500)に認定された。

経済産業省と日本健康会議が共同運営するもので、地域の健康に即した取り組みや健康増進活動などをもとに、特に優良な

健康経営を実践している法人を顕彰する制度。認定を受けたのは同社と正興ITソリューション(株)、(株)正興サービス&エンジニアリング、(株)正興C&Eの4社。健康データの収集と見える化や健康管理ツール活用した改善推進、健康イベント開催や運動サポートなどが評価されたもの。今後は健康マイレージの導入や、社員家族の健診フォローとツール提供にも取り組んでいく予定。

同社では「社員の健康を重要な経営資源の一つと捉え、積極的な健康支援と組織的な健康づくりの推進で、今後も健康経営のさらなる推進を図っていく」と話している。

たんぱく質を補う健康食品

キューサイ

青汁メーカーのキューサイ(福岡市中央区草香江1丁目、神戸聡社長)は4月1日、粉末スティックタイプの健康食品を発売した。

商品名は「大人のダブルたんぱく」。植物性(大豆たんぱく)と動物性(乳たんぱく)の